



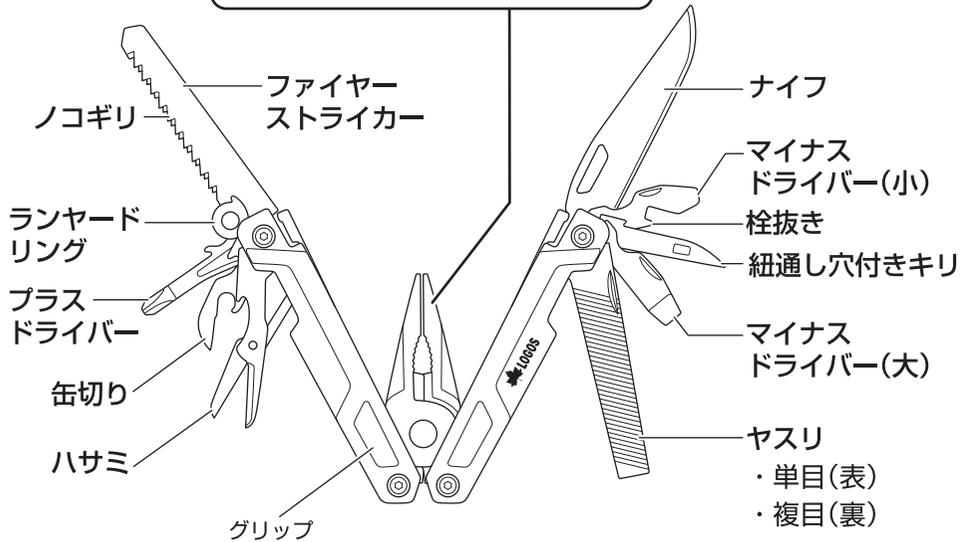
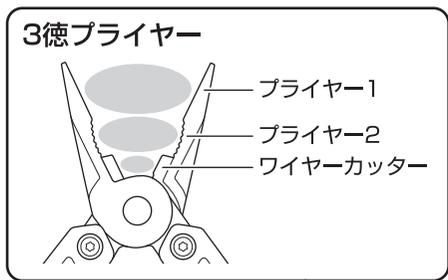
LOGOS PROマルチツール16 No.84330312

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよく読んでください。
また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、
注意事項は必ずお守りください。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

取扱説明書

■ご使用前に パーツ類の破損などがなければ確認する。(破損が見つかった場合は使用しないでください)

各部の名称



・正当な理由なく刃物を携帯することは、銃刀法および軽犯罪法で禁止されています。
・本製品の使用時以外は、十分に梱包し、直ちに使用できない状態で持ち運んでください。
・本製品は必ず自宅に保管してください。自宅外での使用後は、車内への置き忘れや、カバンやポケットからの取り出し忘れなどに十分ご注意ください。

使用上の注意

●事故やけが、器具の損傷を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。

けが、破損のおそれあり

- 安全に使用し、事故やけがに十分注意する。
- ナイフを出し入れするときは、刃の軌道上に指を置かない。
- 人に向けて使用しない。
- 子どもが使用する際は、必ず大人が使用方法を指導する。
また、子どもから絶対に目を離さない。
- 子どもの手の届かないところに保管する。
- 2つ以上のツールを同時に引き出したまま使用しない。



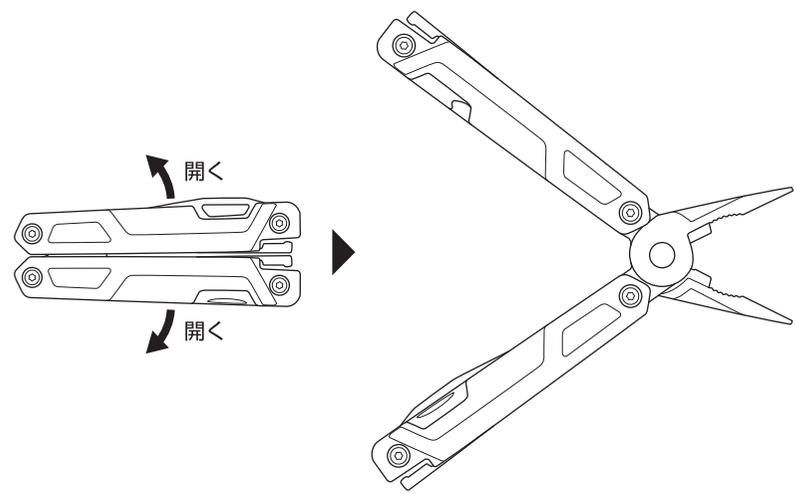
破損のおそれあり

- 火や熱湯など、高温にさらさない。
- 本体が濡れたときは、乾いた布などで水分を完全に拭き取る。
- 十分に乾燥させてから、湿度の低い冷暗所で保管する。

※ファイヤーストライカーを使用するには、別途市販のファイヤースターターが必要です。

プライヤーの使いかた

- 図のように、それぞれ外側に開く。
 - グリップが完全に開ききり、軽く固定されたことを確認する。
- ※グリップを開くと、プライヤーも自動的に開きます。



- 使用後は、逆順でゆっくりとグリップを閉じてください。
- ※仕様上、グリップを閉じるときに固く感じる場合がございます。



- グリップを閉じる際、グリップやプライヤーの間で指を挟まないよう注意する。(けがのおそれ)

続きは裏面を見てください。

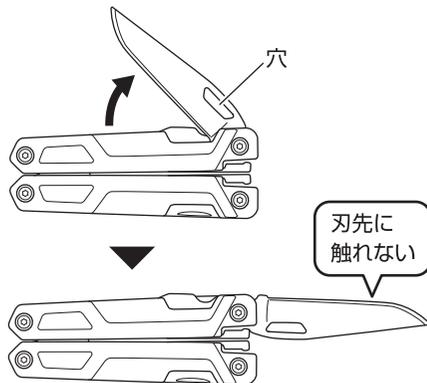


- ツールを出し入れするときは、先端などの鋭利な部分に素手で触れないよう注意する。
- ナイフを出し入れするときは、刃の軌道の上に指を置かない。
- ナイフ先端で、固い物をこじったり突いたりしない。(刃こぼれ、けがのおそれ)

ツールの使いかた

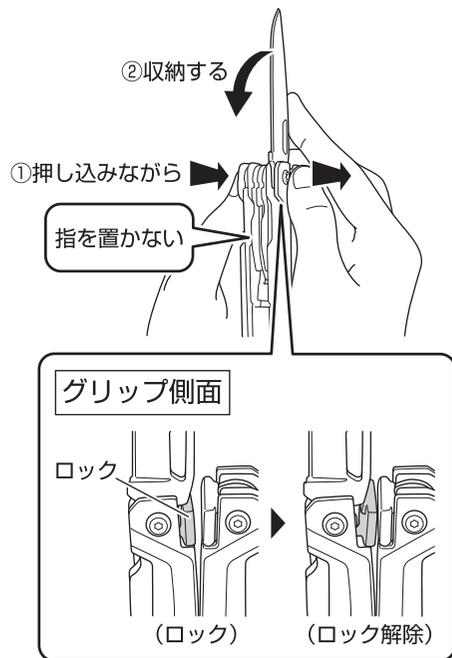
■ ツールの引き出しかた

- ツールの穴や切り欠きに、爪などをひっかけて引き出す。
 - 「カチッ」となって、ツールがロックされたことを確認する。
- ※ランヤードリングのみ、引き出してもロックされません。



■ ツールの収納のしかた

- ロックを内側に押し込みながら、ツールを収納する。



■ ファイヤーストライカーのご使用前に

- ① 消火用の水をバケツなどに入れておく
- ② 革手袋などを着用する

ファイヤーストライカーの使いかた

- ファイヤーストライカーは、ファイヤースターターと組み合わせて使用する火起こし道具です。
- 火起こしするには、別途市販のファイヤースターターが必要です。使用するファイヤースターターの取扱説明書もよくお読みいただき、安全に留意してご使用ください。



- 屋内やテント内、車内などでは使用しない。
- 風がない場所で使用する。
- 周囲に燃えやすいものを置かない。(火花が引火し、火災のおそれ)
- 使用直後は、ファイヤーストライカーに素手で触らない。(熱くなるため、やけどのおそれ)

1 ファイヤーストライカーを引き出す

- ツールの溝に爪などをひっかけて引き出す。
- 「カチッ」となって、ツールがロックされたことを確認する。

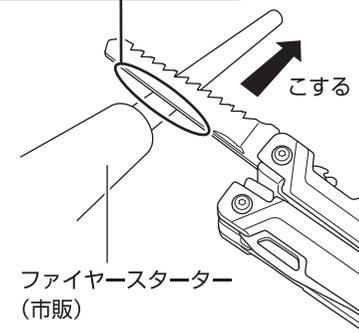
2 ファイヤーストライカーの角をファイヤースターター(市販)に当て、勢よくこする

- ファイヤースターターの先を火口(ほくち)に向け、火花を飛ばして着火する。

Point

- ファイヤーストライカーの角を、ファイヤースターターに対して約45°で当てると、より大きな火花を出しやすくなります。
- ファイヤースターターをこすると、ファイヤーストライカーに汚れが付着します。この汚れは布で拭き取ることができますが、完全には除去できない場合もあります。

ファイヤーストライカー
(ノコギリの背)を当てる



お手入れ

- 使用後は、乾いた布などでツールに付いた水分や汚れを拭き取ってからグリップに収納してください。
- 海水がかかったり、食材を切ったりした場合は、真水で全体を洗い流し、酸や塩分を取り除いてください。汚れがひどい場合は、薄めた台所用洗剤で洗浄してください。その後、水気を拭き取り完全に乾燥させてから保管してください。(可動部に水分や汚れがたまりやすいのでご注意ください)
- 可動部には、定期的な防錆効果のあるオイルを適量さすことをおすすめします。

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。